

平成26年度 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
運営懇談会（第15回）議事概要

平成27年3月23日（月）
13：30～15：40

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議事
 - (1) 独立行政法人通則法改正関係
 - (2) 平成26年度事業報告
 - 第6次寮再編成
 - 就労支援事業所「らかん」の実施状況
 - 就労支援施設の拡充
 - 障害児通所支援センター「れいんぼ～」の実施状況
 - (3) 平成27年度予算（案）
 - (4) 平成26年度生活環境改善関係
 - (5) 虐待が疑われる事案の再発防止の検討のための第三者委員会について（経過報告）
 - (6) (福)友愛会について

4. 閉会

【議事に対する主な質疑（：委員、：のぞみの園）】

- (1) 独立行政法人通則法改正関係
 - 特になし

- (2) 平成26年度事業報告
 - 第6次寮再編成

寮再編において最も配慮した点は何か。寮を異動することの適応が難しいのではないか。「まさか」と思うことが起こるのでゆっくりとした対応が必要ではないか。

寮再編のプランが決まったときから、利用者へは、説明とともに異動先の寮のあたりを散歩し、下見をしていただくなど少しづつ準備をしてきた。また、保護者等に対しても丁寧な説明を行い了承を得た。

利用者の方のとまどいへの対応はどうか。

時間をかけて丁寧な対応をしてほしいとの要望を出している。

現在の寮のスタッフを異動先の寮へ異動するなどを配慮している。

トラブルの恐れがあるので、診療所も対応がとれる体制をとっている。

寮再編の経過、取組などを、全国に発信する必要があるのではないか。

亡くなられて退所される利用者が多いが、新規の受入れはあるか。今後はどのように考えているのか。

亡くなって退所される方は、増えることが懸念される。今後ののぞみの園の有り様を検討している。国の施設として従来の入所を進めるべきではないが、一方で、矯正施設を退所された方が地域で生活できるよう支援するための受入れや発達障害関係のニーズがある。国の政策課題となっているところは強化していきたい。将来的にはいくつかの寮を活用して政策課題に対応し、独立行政法人としての役割を果たしていきたい。また、調査研究、養成・研修は拡充していく。

寮再編のことについては、情報発信したい。

就労支援事業所「らかん」の実施状況、 就労支援施設の拡充
利益はどうか。

全体では若干の黒字であった。

酒まんじゅうは、スーパーや道の駅などで販売できないか。

既存の店への新規参入は難しいが、新しくオープンする店にはお願いしている。

先を見込んで販売先を考えている。また、イベントでの販売もやっていきたい。

公共施設（公民館など）はどうか。

色々検討している。

障害児通所支援センター「れいんぼ～」の実施状況

訪問支援は今後広がっていくと考えるが、特別支援学校のセンター的機能との重複による混乱を避けるための調整はしているか。

現在、れいんぼ～の利用者で保護者の希望があった場合のみ家庭連携加算を活用して訪問支援をしている。

いずれは、調整の場が必要になると思う。

(3) 平成27年度予算案

特になし

(4) 平成26年度生活環境改善関係

特になし

(5) 虐待が疑われる事案の再発防止の検討のための第三者委員会について（経過報告）
再発防止の一番のポイントはどこか。

職場環境の改善、身になる研修、再発防止の体制整備が委員会で議論されている。

経験上、若い人は熱心という傾向がある。研修のやり方を良く検討すること。

支援の場面をビデオで撮って、意見交換することもひとつ。工夫してほしい。

座学だけでなく、職員が参加するロールプレイ研修を実施している。

研修や実践をして振り返り、全員がそれぞれまとめをすることが大事。

(6)(福)友愛会について
特になし

(7)委員から

養育力の弱い家庭のニーズに応えるような事業ができないか。2～3日の宿泊でのカウンセリング、支援など、家族全体を対象としたモデル事業ができないか。